

仮設住宅へもLPガスを供給



急ピッチで建設が進む長岡市の仮設住宅(11/18)
(写真提供: ㈱石油化学新聞社)

新潟県中越地震

全国からの温かな支援に感謝

「仮設住宅」熱源にLPガス

災害3点セット確保、組織強化

新潟県LPガス協会の古川武会長(新潟サンリン社長)は十日、新潟市内の新潟サンリン本社で本紙インタビューに応じ、十月二十三日に発生した新潟県中越地震の被災に対する全国からの温かな支援の輪に感謝の意を表した。その上で古川会長は、冬本番を前に家を失った被災者のため、急ピッチで各地に建設が進む仮設住宅の熱源にLPガスが採用されることとなり、供給に万全期を準備を強調した。一方、古川会長はLPガス業界の今後の災害対策について「三連こんろ、ヒューズガス検、調圧器」の三点セットを備品として確保すると、また組織的は復旧・復興支援活動を行うため、県協会十一支部の傘下にブロック、班を新たに設ける組織の細分化案を明らかにした。また、十一日には他のライフラインと共に復旧完了を宣言した。(聞き手 河野博記者)

プロパン・ブタンニュース(11/15)
㈱石油化学新聞社

地震災害に貢献するLPガス



- 震度5以上でマイコンメータが自動的に遮断するので、大半の二次災害は防止できる(都市ガスも同様)。
- さらにLPガスは個別供給であり、被害が最小限に抑えられる(被害は1戸単位である)。
- 同様に調査・点検も1戸単位であり、迅速に復旧できる。
- 避難所等への燃料供給もいち早く対応でき、避難者に対して炊き出しや給湯を提供できる。
- 充填所等は高圧ガス設備であり、耐震力に優れている(過去の地震においても大きな被害はなし)。

**都市部においても公共施設・指定避難所・病院・学校等への
LPガス導入が災害対策上有効である。**